

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		生活・介護サポーター養成事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	後藤 博康
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加				所属課	高齢者支援課	担当者名	野口 政浩
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実				所属班	高齢者保険班	(内線)	2112
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	生活・介護支援サポーター養成事業実施要綱		
		30	11	2	5	11504		成果優先度評価結果 1 コスト削減優先度評価結果 -		
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☒ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・市民の主体性に基づき運営される新たな住民参加サービス等の担い手として生活・介護支援サポーターを養成し、地域の高齢者の個別の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に支えるシステムを構築する。・合志市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(P114)に計画している事業である。平成21年5月28日付け老発第0528001号で、「生活・介護支援サポーター養成事業実施要綱」が定められた。介護保険では埋められない様々なニーズに対応できる、生活支援をおこなう。・生活・介護支援サポーターが増えることにより、地域で高齢者の生活を支えることができる。介護保険制度の制約やボランティア活動にも限界があり、この中間的支援を希望する高齢者は増加すると思われる。平成22年度より生活・介護支援サポーター支援及び養成は、介護保険制度の地域支援事業交付金の任意事業で実施する。
【業務の流れ】	合志市社会福祉協議会委託契約、修了証交付、サポーター登録、サポーター支援申請、利用の決定、利用者登録
【主な予算費目】	委託料 3,426千円(研修会運営費1,626千円、人件費等1,400千円、活動助成400千円)
【意見や要望】	新規事業であるため、特に意見はない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)

22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

啓発講演会等を開催し事業の周知を図る。市広報・社協広報を活用し、サポータの募集や事業の周知を図る。

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標

⇒ア 講演会開催数

⇒イ 研修会開催数

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

概ね40歳から64歳までの市民(若年者)及びサポータとして活動できる高齢者

⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標

⇒ア 研修会に参加した人数

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

生活・介護サポーターを養成する。

⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標

⇒ア サポーター登録者数

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回					1	1	1
	イ	回					20	20	20
⑤ 対象指標	ア	人					60	60	60
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人					48	48	48
	イ						72	120	168
事業費	国庫支出金	千円					1,370	1,370	1,370
	都道府県支出金	千円					685	685	685
	地方債	千円							
	その他	千円					685	685	685
	繰入金	千円					686	686	686
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	3,426	3,426	3,426
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人					2	2	2
延べ業務時間	時間						120	120	120
	(B)人件費計	千円	0	0	0	0	478	478	478
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	3,904	3,904	3,904

総トータルコスト

全体計画

～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

合志市

事務事業名	生活・介護サポーター養成事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策